

# 地域情報基盤整備事業について

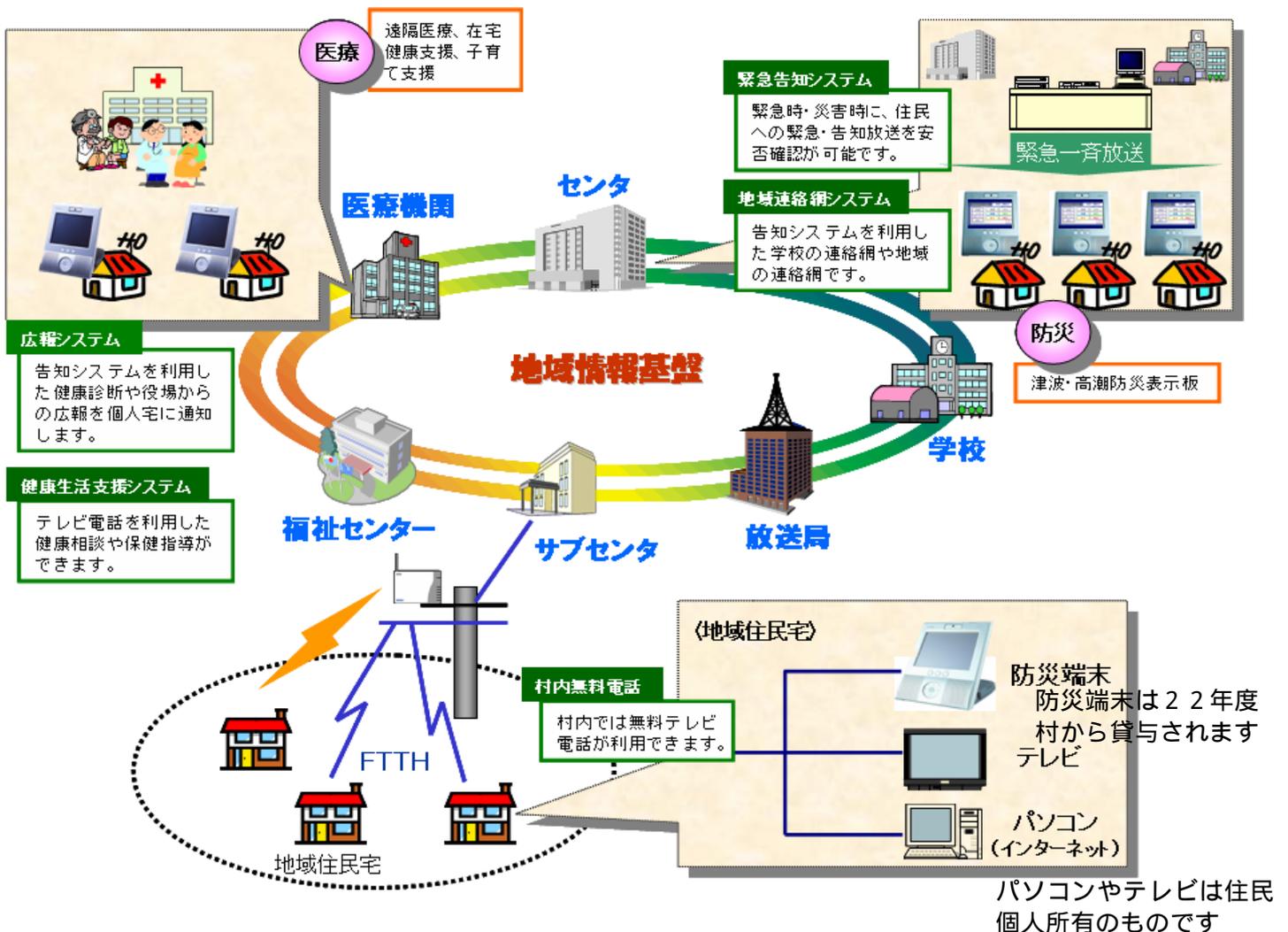
## 今までの経緯

村では、平成4年から村内18地区にテレビ共同受信施設を順次設置し、村民の皆様へサービスを提供してきましたが、設置から10数年の経過とともに、地域特有の塩害等により受信障害が頻発している状況にあります。この施設は地区ごとに受信設備を設けているため、テレビ受信感度に差が出ていることや、テレビ地上放送のデジタル化に伴い、今後の設備更改に向けた対応が必要となります。

また、災害時の住民に対する情報伝達手段の1つであるバリアフリー型放射線・行政情報伝達システムは、災害弱者（視覚・聴覚・独居老人）にも配慮したもので、自宅テレビから情報確認ができるなど有効なシステムとして機能していますが、テレビ信号として地上アナログ電波を利用しているため、アナログ放送廃止後の新たな情報伝達手段の構築が急がれていました。

この事業は、光ファイバを使用することにより総合的な高度情報基盤の整備を目指すもので、地上デジタル放送に対応するとともに、災害時の住民に対する的確な情報伝達を確保し、合わせて公共施設ネットワークの充実と新規行政サービスの導入を図るものであります。

## デジタル化によるメリット及び完成後のサービス内容(予定)

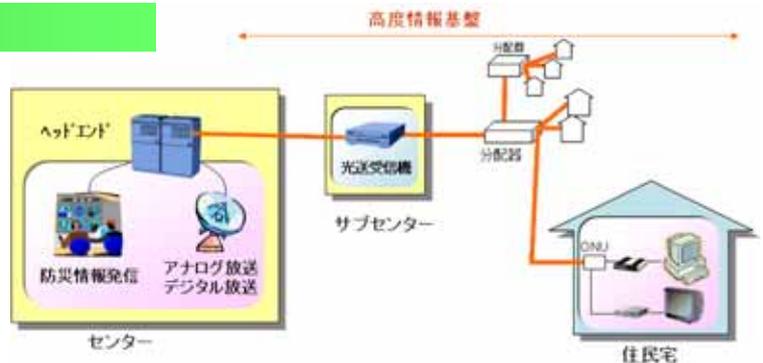


## 主要施策

高度情報基盤を活用し、緊急性の高い課題である「テレビ共同受信設備の更改」「防災システムの更改」「ブロードバンド環境の整備」「地域イントラネットの更改」の4つを柱として計画を推進します。

### テレビ共同受信設備の更改

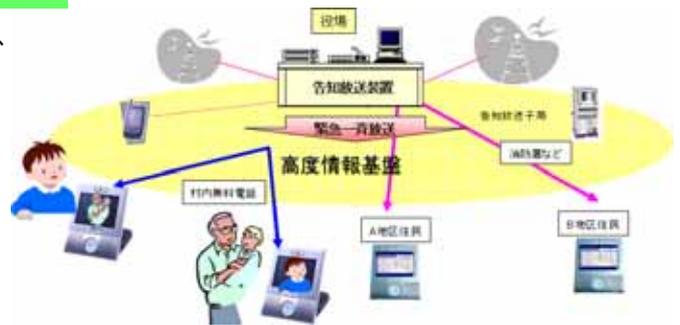
設備の老朽化及び地上デジタル放送に対応するため、光ファイバを利用したテレビ共同受信設備への更改を行い、地上デジタル放送・アナログ放送の再送信、BS放送の再送信など住民サービスの向上を図ります。



### 防災システムの更改

新システムは、情報伝達の確実性・迅速性に加え、双方向性・操作性を考慮し、緊急時や災害時には住民が役場からの緊急・告知放送を受信したり、役場から住民の安否確認が出来るようになります。

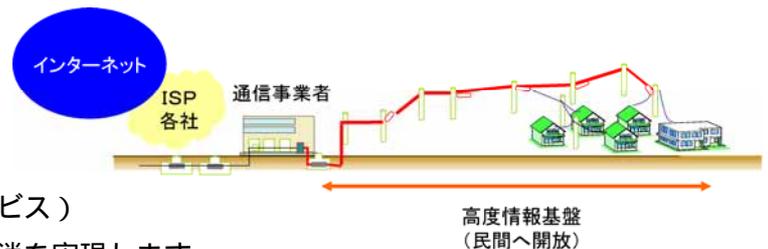
平常時には住民に向けた定期的な情報提供や、村内無料電話として利用することで地域コミュニケーションの充実を図ります。



### ブロードバンド環境の整備

企業誘致や地域の活性化、グローバル化を推進していくために、ブロードバンド環境の整備を推進します。

高度情報基盤を民間に開放することにより、通信事業者サービス（NTT Bフレッツサービス）の利用が可能になり村内のデジタルデバイド解消を実現します。



### 地域イントラネットの更改

ITを活用し、業務の効率化や住民に対して様々なサービスを提供していくために、高度情報基盤をインフラとした地域イントラネットの整備を行います。

村内の学校、図書館、公民館、役場を超高速ネットワークで接続し、いつでも、どこでも、誰もが安心してITの恩恵を享受できる環境を目指します。

